

# 土器川の減災に係る取組方針 「令和5年度の重点的な取組」の報告について

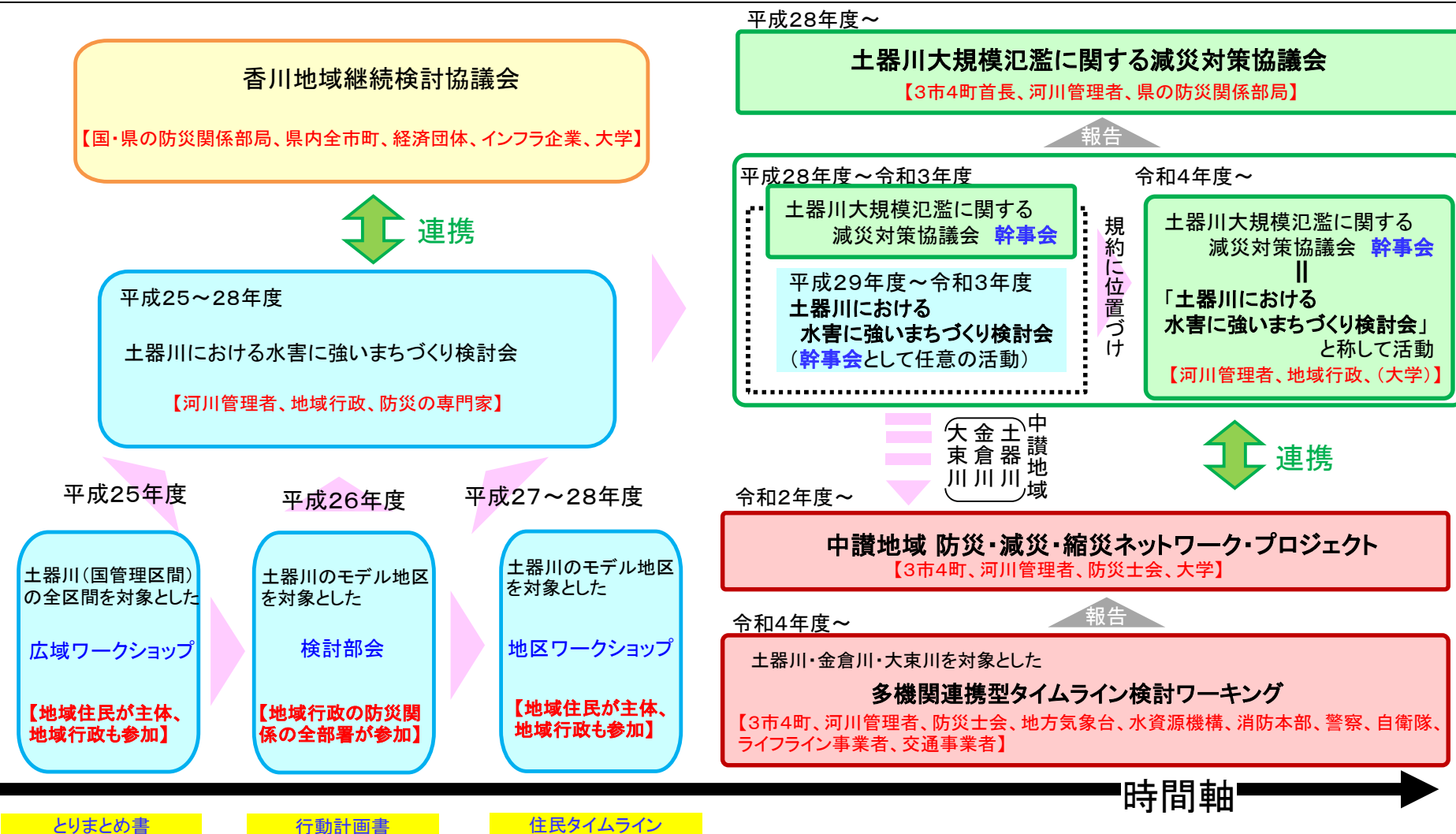
---

令和6年5月21日

土器川大規模氾濫に関する減災対策協議会

# 「土器川における水害に強いまちづくり検討会」の経緯

- 平成25年度より、大規模な水害を想定し、地域連携による“水害に強いまちづくり”を目指した危機管理対策の検討を実施。



## 「第9回 土器川大規模氾濫に関する減災対策協議会」 令和5年5月30日開催

### ①「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク・プロジェクト」の推進

- ・【人材育成プロジェクト】の具体的な取組の推進
- ・【地域連携プロジェクト】の具体的な取組の推進

⇒リレー防災みらいサロンの開催(3市2町)

本資料の説明内容

### ②流域タイムラインの運用フォローアップの推進

- ・「流域タイムライン」の運用を推進するとともに、確認された課題に関して関係機関と共有

⇒令和5年度より運用開始し、今後も継続  
(今年度は大きな出水なしで検証できず)

### ③特定都市河川の指定による流域治水の本格的実践に向けた情報共有の推進

- ・「流域治水」の推進に向け、特定都市河川の指定に関する全国の取組状況や施策内容などの情報共有
- ・当該制度の推進に向けた関係機関との調整の推進

⇒土器川でも指定に向けた検討を開始し、今後も継続

- 「水防災意識社会 再構築ビジョン」を受けて、平成28年度に策定した「土器川の減災に係る取組方針」で設定した緊急行動計画の取組35項目について、取組目標とした令和2年度までに、各関係機関によりほとんどの取組が実施された。
- 令和2年度以降も引き続き減災にかかる取組を推進するため、減災対策の取組における本質的な課題への対応として、「人材育成と地域連携の仕組みづくり」を継続することとし、令和2年度に「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク・プロジェクト（中讃地域RNP）」を設立した。
- 中讃地域RNPでは、中讃地域における多種多様な組織・団体が連携することにより、地域住民が迅速かつ的確な命を守る避難行動を実行できる“避難支援体制づくり”や、地域が迅速かつ柔軟な復旧・復興を成し遂げられる“災害に強い地域づくり”を目指すことを目的としている。
- 令和3年度は、中讃地域RNPを推進していくため、キックオフ・シンポジウムを開催し、取組の周知を図った。

「土器川の減災に係る取組方針」取組35項目

「土器川の減災に係る取組方針」 取組の大項目	取組項目
1) 水害に対する安全性の向上および危機意識の向上とともに迅速かつ的確な避難行動のための取組	24項目
2) 洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための的確かつ効率的な水防活動の取組	7項目
3) 一刻も早い生活再建、社会経済活動の回復を可能とするための排水活動、施設整備（防災機能の維持）の取組	4項目

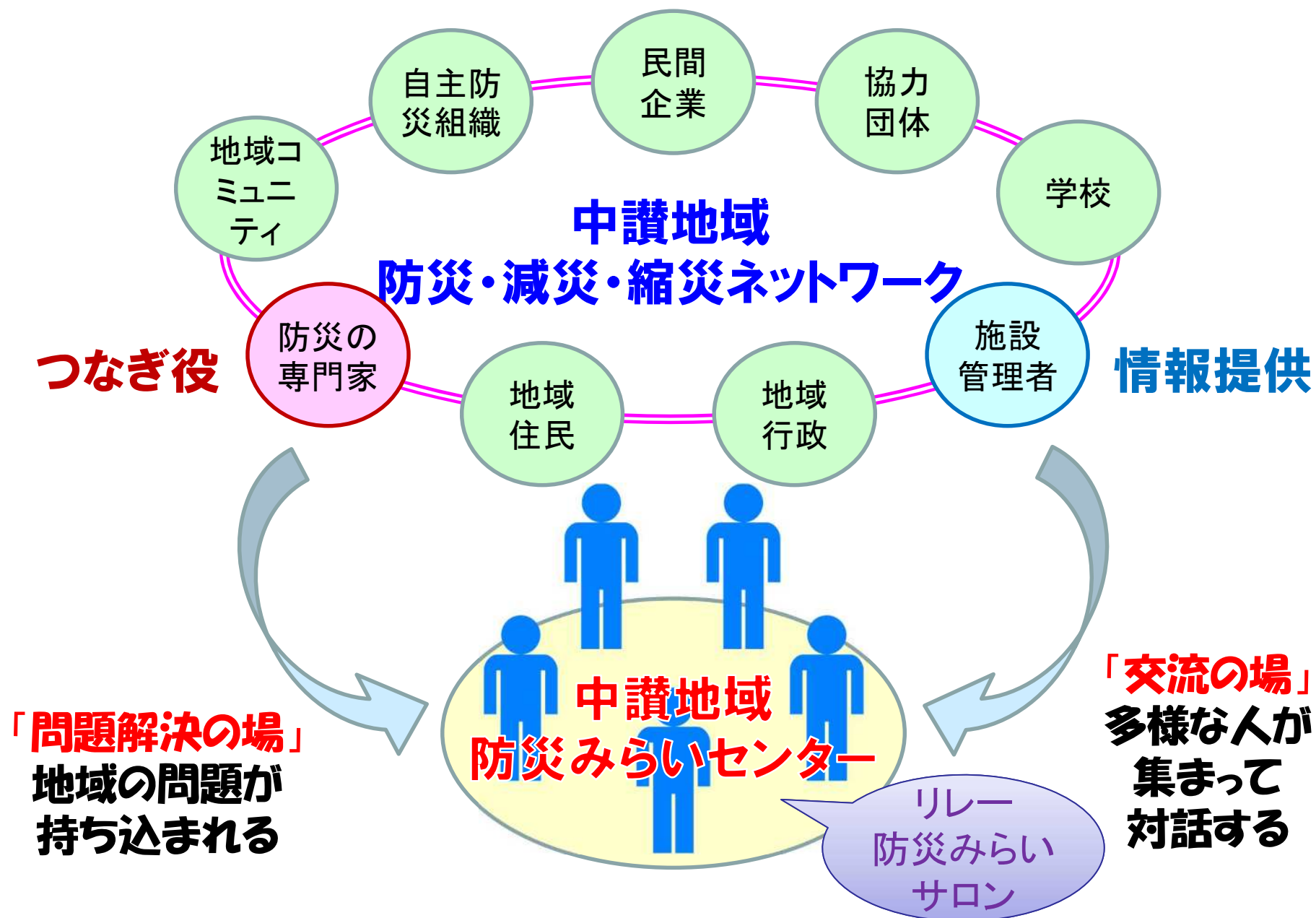
減災対策の取組における本質的な課題（人材育成と地域連携の仕組みづくり）への対応

中讃地域 防災・減災・縮災  
ネットワーク・プロジェクト  
（中讃地域RNP）の推進

## 【本質的な課題への対応】（犠牲者ゼロを目指して）

### ●地域住民の水防災意識の向上

- ・【人材育成】：防災士等と連携した地域防災リーダーの育成、公助と共助が連携した防災教育・訓練の仕組みづくり
- ・【地域連携】：共助の横の連携体制（連絡体制）の強化、公助と共助が連携した情報共有の仕組みづくり

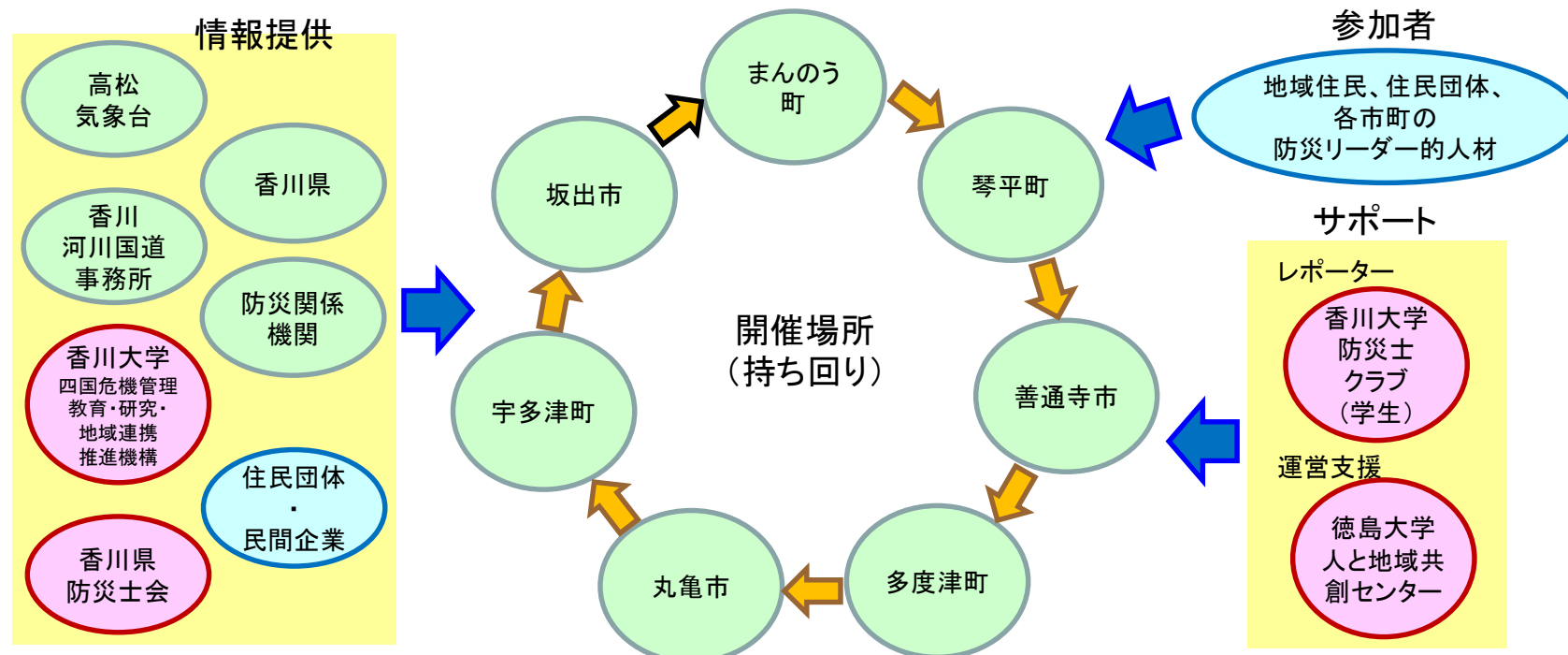


## 【目的】

- ① 交流の場・機会を増やす
- ② 地域の多種多様な組織・団体が知り合いになる
- ③ 「防災」をキーワードに、地域で「つながりの輪」を作る
- ④ 地域の情報を共有する
- ⑤ 地域防災リーダーを育成する
- ⑥ 様々な地域活動に共同で参画しやすくする
- ⑦ 災害時に地域で協力しやすい体制を作る

# リレー防災みらいサロンの継続的な実施

- 継続的な人材育成と地域連携の場を提供し、住民自らが防災情報に関する情報の収集や意見交換、地域の活動を知るきっかけをつくるため、開催場所を持ち回り、各自治体（中讃地域RNPメンバー）が主体となった実施体制の構築が必要。



## 【リレー防災みらいサロン・プログラム(案)】

- **テーマ**: 気象情報、河川情報、防災情報システム、災害リスク(自然災害全般)、防災とまちづくり、防災と福祉、防災学習(ゲーム)、災害伝承など
- **構成**: 3部構成『①講習(現地オンライン中継)、②住民組織からの情報提供、③カフェスタイル座談会』、計2時間
- **場所**: 各市町のコミュニティセンターなど
- **レポーター**: 香川大学防災士クラブ(学生サークル)
- **コメンテーター**: 香川県防災士会 中讃ブロック・坂出宇多津ブロック、参加者(開催場所の一般参加者に加え、各市町の防災リーダー)
- **主催者**: 中讃地域RNPの主幹メンバー
- **運営支援**: 徳島大学 人と地域共創センター



# リレー防災みらいサロンの開催(令和5年度)

- 中讃地域を主体に、「人材育成プロジェクト」と「地域連携プロジェクト」の活動を実施することにより、地域の情報共有、地域活動の共同参画、災害時の協力体制などの新たな仕組みを醸成させる取組として、令和3年12月のキックオフ・シンポジウムより具体的に活動を開始。
- 防災意識の向上に加え、地域のつながりを目指し、交流の場「リレー防災みらいサロン」を企画し、令和5年2月に丸亀市で第1回(試行)開催をスタートとして、令和5年度に土器川流域の各市町で開催。

R5年度 リレー防災みらいサロン 開催状況一覧表

市町	R5年度の実施状況	R5年度の開催形式
丸亀市	実施 R5.12.3(日)	出前講座
坂出市	実施 R5.10.28(土)	【講話】大雨時の気象情報について ゲーミング・ワークショップ
善通寺市	実施 R5.9.9(土)	自主防災会講演会
宇多津町	未実施	—
琴平町	未実施	—
多度津町	実施 R5.9.23(土)	【講話】南海トラフ巨大地震への備え 【講話】自主防災会組織の活動 ワークショップ
まんのう町	実施 R6.3.3(日)	総合防災訓練



# 【丸亀市】R5年度リレー防災みらいサロンの概要

- 丸亀市では、地域住民を対象に出前講座を開催。
- 河川行政及び河川情報、災害時の避難方法についての講演を行った後に質疑応答を行い、防災に対する住民の理解を深めた。

日 時 令和5年12月3日（日）

場 所 土器町高津自治会集会場

## 講演項目

- ① 国土交通省 四国地方整備局 香川河川国道事務所
  - ・ 最近の河川行政の動向について
  - ・ 河川管理者から提供する河川情報について⇒治水計画や河川情報全般に関する講演
- ② 丸亀市 市長公室 危機管理課
  - ・ ハザードマップについて
  - ・ 避難について
  - ・ 防災ナビの活用について⇒避難方法や防災情報の活用に関する講演

## 〈市民からの質問・意見〉

- 地域の河川の浸水対策をどのように進めているのか。
- 農地の減少に伴う浸水対策を考えているのか。
- 避難所を増やしてほしい。
- 住民の防災意識を高めるためにはどうしたらよいか。



- 坂出市では、水害リスクを回避するためには、気象情報に対する理解を深めることが近道であることから、「気象と防災」をキーワードに自主防災会のリーダー、防災士等が参加したゲーミング・ワークショップを実施。

日 時 令和5年10月28日（土）

場 所 坂出市役所 2階大会議室

内 容

- 大雨時の気象現象について（防災気象情報の活用） 講師 高松地方気象台
- ゲーミング・ワークショップによる意見交換

- 高松地方気象台から大雨時の気象現象や防災気象情報の活用についての説明を受け、自らの避難行動のきっかけとなる情報の見方等について学んだ。
- ゲーミング・ワークショップにおいては、「気象」と「防災」に関する質問に対して、参加者がYES/NOを選択して意見交換することで、自らの避難行動等を改めて考える機会になった。



# 【坂出市】R5年度リレー防災みらいサロンの概要(2/2)

➤ ゲーミング・ワークショップでの意見交換の概要は、ビジュアル的にわかりやすい、グラフィックレコーディングにより記録。

中讃地域 防災・減災・縮災 ネットワーク・プロジェクト 第3回 リレー防災みらいサロン 坂出市 2023.10.28

司会進行 徳島大学 人と地域創造センター客員教授 澤田 俊明氏

アイスブレイク 血海型 出身地を挙げてみよう! (坂出) (香川) (四国) (他)

開会挨拶 坂出市 市長 山崎 智士氏

防災 災害の3原則: 坂出市の人材資源と地産地消

気象 カフェスタイル座談会 ゲームングワークショップ

雨雲レーダー等の 防災気象情報を 自ら調べる? 調べない?

状況・行動 あなたたちどっち? 一刻を争う状況で、その方を自分で 助けに行く? 行かない?

回答・意見交換

YSE (行く) NO (行かない)

安全確保 高齢者避難 避難先 避難経路

解説 国土交通省 防災気象情報 香川大学 名譽教授 白木 渡氏

司会進行 徳島大学 人と地域創造センター客員教授 澤田 俊明氏

総評 香川大学 名譽教授 白木 渡氏

開会挨拶 香川河川国道事務所 副所長 中塚 光氏

第3回 リレー防災みらいサロン 坂出市 2023.10.28

大雨時の気象現象について

大雨による災害の種類と「キキクル」

大雨 土砂 浸水 洪水

スマホで確認できる!

顕著現象(大雨)となる主な気象要因

台風 積乱雲 線状降水帯

ナウキャスト

警戒レベルと防災気象情報

情報の入手方法

気象庁

中讃地域では平均5年以降 大きな災害は起きていないが、全国的には増えていいます。坂出市でも、いつ起こるか分かりません。今日は2つ覚えてほしい。

1 防災の知識 2 情報の取り方

情報があることで防災生命線が広がる

グラフィックレコーディングの活用



# 【善通寺市】R5年度リレー防災みらいサロンの概要

➤ 善通寺市では、自主防災会による講演会（講師による説明と避難に関する意見交換）を実施。



日時 令和5年9月9日（土）  
場所 公民館

- ハザードマップを活用して、住んでいる地域の浸水 想定区域の確認や土砂災害警戒区域を確認。
- 集中豪雨などの被害想定をして、住民がいつ避難所に避難するかを自ら発表してもらった。
- マイタイムラインの作成の仕方や事例紹介

# 【多度津町】 R5年度リレー防災みらいサロンの概要(1/2) 国土交通省

- 多度津町では、住民のニーズを踏まえ、「巨大地震への備えと防災活動」をキーワードに自主防災組織の関係者等が参加したワークショップ(カフェスタイル座談会)を実施。

日 時 令和5年9月23日(土)

場 所 多度津町地域交流センター 2階ホール

内 容

- 南海トラフ巨大地震への備え 講師 高松地方気象台
- 自主防災組織の活動 講師 香川県危機管理課
- カフェスタイル座談会

■ 専門家から南海トラフ巨大地震の概要と備えについての説明を受け、「自助」と「共助」の大切さ、自主防災組織の活動の重要性を学んだ。

■ 座談会においては、参加者が地震の対策について、専門家にアドバイスを受けるなど、防災意識の向上につながった。





国土交通省

➤ ワークショップ(カフェスタイル座談会)での意見交換の概要は、ビジュアル的にわかりやすい、グラフィックレコーディングにより記録。

[illegible]

# 【まんのう町】 R5年度リレー防災みらいサロンの概要

- まんのう町では、訓練実施の狙いを以下①～③として、住民参加の総合防災訓練を実施。
- ①地震を想定した訓練を通じ町民の防災意識の高揚を図る
  - ②各種訓練種目の実施を通じて防災に関する知識や技術を体験し災害時の対応行動の一助とする
  - ③避難所開設、防災装備品等の展示、展示体験ブースを設置し、住民の災害対策の参考としてもらう

## 南海トラフ地震に備えよう！！ まんのう町 総合防災訓練

日時：3月3日（日）午前9時30分から

場所：仲南小学校グラウンド・体育館

### 主な訓練内容

町民参加訓練：三種の神器（バール、ジャッキ、ノコギリ）を使った救出救助訓練など

防災関係機関：被災車両からの救出（警察、消防本部）  
倒壊家屋からの救出（自衛隊）  
現地救護所設置（日本赤十字社）  
消火訓練（まんのう町消防団）

展示体験コーナー：災害用伝言ダイヤル体験、防災用品の展示など

炊出し（カレー）：体験喫食があります。（限定400食）

※荒天等の場合は中止いたします。

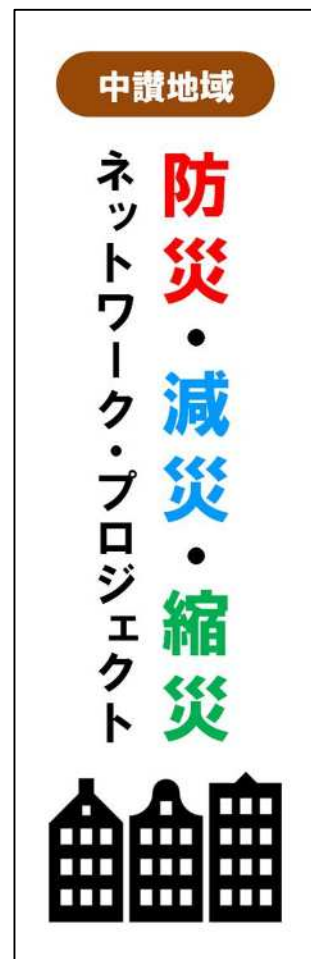
3日朝午前7時以降オフトークでご連絡いたします。





# 「四国の川を考える会」の助成事業の活用について

- 「リレー防災みらいサロン」を継続して地域連携、人材育成できる活動とするため、「四国の川を考える会」の助成事業を活用して「のぼり旗(3種類)」を作成し、令和5年度中に関係市町に配布。
- 今後の各種防災に関する取組・イベント等で設置いただくなど、中讃地域RNPの取組の周知を図る。



のぼり旗デザイン(縦1.5m×横0.45m)



のぼり旗設置状況